

# ならやまの昆虫のいとなみ

## 1 昆虫のおとなと子ども

ほとんどの昆虫は、子ども(幼虫)からおとな(成虫)になるまでに姿(すがた)を変えます。これを変態(へんたい)といいます。変態には完全(かんぜん)変態と不完全(ふかんぜん)変態があります。完全変態とは、幼虫から成虫になる途中にさなぎという姿になる過程(かてい=変化)があり、不完全変態は、さなぎの過程がありません。完全変態の昆虫は、幼虫と成虫が全く違う姿になります。かたい殻(から)でおおわれている甲虫(こうちゅう)類とチョウ、ガ類、ハチ類などです。不完全変態の昆虫は、幼虫と成虫がかなり似(に)た姿のものが多(おほ)いです。カメムシ類、トンボ類、バッタ類などです。

### ◆完全変態 (かんぜんへんたい)



#### アゲハチョウ (チョウ類)

幼虫は脱皮(だっぴ=皮をぬぐこと)を何回かくり返し、そのたびに大きくなります。最後の脱皮をするとさなぎになり、そして成虫になります。さなぎはその場所に定着(ていちゃく)しているので動けません。幼虫の食べ物はミカン、サンショウなどの植物です。



幼虫



さなぎ



成虫

#### クワコ (ガ類)

絹糸(きぬいと)を作るカイコは、大昔の中国でクワコを改良(かいりょう)して作られたといわれています。幼虫はまゆという巣(す)のようなものの中でさなぎになり、そして成虫になります。

幼虫の食べ物はクワの葉、成虫は何も食べません。



幼虫



まゆ



成虫

## カブトムシ（コガネムシ類）

幼虫は堆肥(たいひ)などの中で、堆肥などを食べて育ちます。成虫の食べ物はクヌギなどの樹液(じゅえき)です。幼虫が十分生育すると堆肥などの中に卵(たまご)形の空間を作り、その中でさなぎになります。

幼虫



さなぎ



成虫



## ナナホシテントウ（テントウムシ類）

よく目にする昆虫です。食べ物は幼虫、成虫ともにアブラムシです。植物の害虫(がいちゅう)のアブラムシを退治(たいじ)してくれるので、益虫(えきちゅう)として有名です。

幼虫



さなぎ



成虫



---

## ◆不完全変態（ふかんぜんへんたい）

### ギンヤンマ（トンボ類）

幼虫は水の中で暮(く)らし、食べ物は水中の小さな生き物です。成虫の食べ物は、主として飛んでいる虫です。

トンボ類の幼虫には、ヤゴという共通(きょうつう)の呼び名があります。



幼虫



成虫

産卵中(さんらんちゅう)で、上はオス、下はメスです。

### クサギカメムシ (カメムシ類)

よく見かけるカメムシです。食べ物は幼虫、成虫ともに植物です。口は注射針(ちゅうしゃばり)のようになっていて、これを果実や茎(くき)や葉に突きさして汁を吸います。

幼虫



成虫



### ササキリ (キリギリス類)

小型ですがキリギリスのなかまで、草むらで「シリ・シリ・シリ」と鳴きます。幼虫はちよっとおどけた顔をしています。食べ物は主にイネ科植物です。

幼虫



成虫



### クルマバッタ (バッタ類)

大きなトノサマバッタによく似(に)たバッタです。十分成長した幼虫が成虫とちがうところは、はねがないことだけです。だっぴをくり返して成長し、最後のだっぴをすると成虫になります。食べ物は幼虫・成虫ともにススキなどのイネ科の植物です。

幼虫



成虫



### オオカマキリ (カマキリ類)

幼虫の写真は赤ちゃんカマキリです。はねはありませんが、成虫とほぼ同じ姿をしています。食べ物は幼虫・成虫とも生きた虫類ですが、赤ちゃんはどんな虫を食べているのでしょうか。

幼虫



成虫

